



「今回の合併で、大館、比内、田代それぞれの地域が発展してもらえればいい」と隆さん。



勇壮な「田代太鼓」も登場

かるナー。にぎやいでくる下界の様子を想像しながら、大文字の点火で沸き上がる様子などを話していると「ああー、そうなんですか」と遠くを見るように中嶋林業の中嶋さん。中嶋さんは、長らくこの日のために、山道の整備から草刈り、まきの準備など手がけてきたかた。一度も下からは、見たことが無いそうです。いよいよ無線からの合図で一斉に点火。と、ウウソッ！何？今までの平穩を吹き飛ばす突然の強風、火柱、火の粉、熱風の嵐。あたふたと茫然自失、阿鼻叫喚、灼熱地獄、支離滅裂!!?...。ザックとカメラを抱えて、一人逃げ回る筆者でした。

**日**が替わっての「あつてグッド」。大鮎の里ふるさとまつりにやってきました。外川原の会場は、とても広い！明るいうちに子供たちのイベントが行われ、すでに盛り上がりを見せています。テントを張ってパーベキューセットを設えているかたも。芝生の上でくつろいでいるグループの一つに突撃取材！快く応じていただいたのは、佐藤ミドリさん(出口)と夫の清蔵さんたちのご家族。「家は、すぐ近くなので、歩いてきたんです。毎年来てるんですよ。今日は、娘家族も一緒です」とミドリさん。紹介していただいた娘さんは、尾山真紀さん(鉄砲場、そして夫の文晴さんと子供の奈緒ちゃん)。奈緒ちゃんは、小さな指で2歳と示してくれました。するとそこへ、もう一組が合流。山内幸樹さん(東成町)と腕の中でむずがる春奈ちゃん(2歳)。奈緒ちゃんは、なぜか顔も見せてくれません。「文晴さんと友人なんです。春奈は、起き立てなんです。すみません」。いえいえ、それじゃ、ご機嫌斜めなのも無理はありません。

**辺**りは次第に暗くなり、舞台から伸びるちようちんが明るく目立ち始めてきました。「盆踊りを見るのが楽しみです、毎年来ています」と答えてくれたのは、新澤隆さん(下岩瀬)。「一緒は、奥さんの澄さんとお嫁さんの麻子さん、麻子さんの子供の真奈ちゃん(4歳)でした。「早く餅拾いに行こうよ」と真奈ちゃん。アツ、これからお楽しみの餅拾いがあるんです。おじゃまでした。豪華景品が当たる抽選も兼ねた餅拾いには、大勢の人が群がり、歓声が上がります。すっかり夕闇に包まれると、イベントの最後、盆踊りの開始。会場内は、おそろいの浴衣を身にまとった踊り子のしなやかな動きに、すっかり魅了されたみたい。夏もそろそろ終わりですネ。では、次回もあつてグッド！」

歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド

市民の皆さんが  
たくさん登場

これまでの  
登場者数 48人

84,703人  
(H17.8.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。



最後はしめやかに。



「当分は行事など現状どおり続けてほしい。いずれは人口減でいろんな事が少なくなっていくだろうから」と清蔵さん。